



準天頂衛星システム事業への 取組みについて

2003年10月 2日

新衛星ビジネス株式会社

目 次



- 1 . 準天頂衛星システム事業方針P2
- 2 . 利用拡大のための取組みP3
- 3 . 事業スケジュール（案）P5
- 4 . 今後の課題P6

1. 準天頂衛星システム事業方針



新衛星ビジネス株式会社は、“準天頂衛星システム”という全く新しいサービス基盤の提供を通じて、放送・通信・測位の複合利用による新たなビジネス機会や社会的便益を我が国経済・社会に創造し、産業活性化に貢献します。

準天頂衛星システムは、衛星を常にサービスエリアの天頂付近に配置できる衛星軌道の特長を生かして、ビルや山陰等にさえぎられることなく、サービスエリアのほぼ真上から移動体への高精度な位置情報や情報配信等を可能にするシステムです。

これからの高度情報化社会にふさわしい宇宙利用に向けて、準天頂衛星システムを構築し、私たちの生活を安全・安心で快適にする新しい時空間・情報サービスを提供致します。

- 自動車や列車など移動体への情報配信
- “安全・安心”な社会システムの実現（ITS、既存通信網との融合他）等

2.1 利用拡大のための取り組み < 省庁利用 >

1. 活動状況

利用の可能性のある府省庁に対する説明、ヒアリングを実施。

- 実施期間 : 2003年 4月 ~ 9月
- 対象府省庁 : 内閣官房、内閣府、警察庁、防衛庁、総務省 (自治体、日本郵政公社)
消防庁、外務省、農林水産省 (関係独立法人を含む)
水産庁 (関係社団法人を含む)
国土交通省 (関係独立法人、社団法人、事業団を含む)
気象庁、海上保安庁、国土地理院、環境省

2. 利用への期待等

- (1) ヒアリングの結果、危機管理、安全保障、交通、測量関係での期待度が高い。
- 危機管理、安全保障 : 移動体と本部間の通信の高度化 (映像伝送、高速データ通信)
移動体の位置管理
 - 交通関係 : 鉄道の安全確保、内航船での通信高速化
 - 測量関係 : 超高精度測量 等
- (2) 危機管理、安全保障関係では、関連する利用調査研究を実施。
- 警察庁、防衛庁、消防庁
- (3) 交通関係では、交通安全環境研究所殿が事務局となり、準天頂鉄道利用検討会 (仮称) を設置し、本年 10月 から活動予定。メンバーとして、JR、民鉄等約 10社 が参画予定。

2.2 利用拡大のための取り組み < 民間利用 >

1. 活動状況

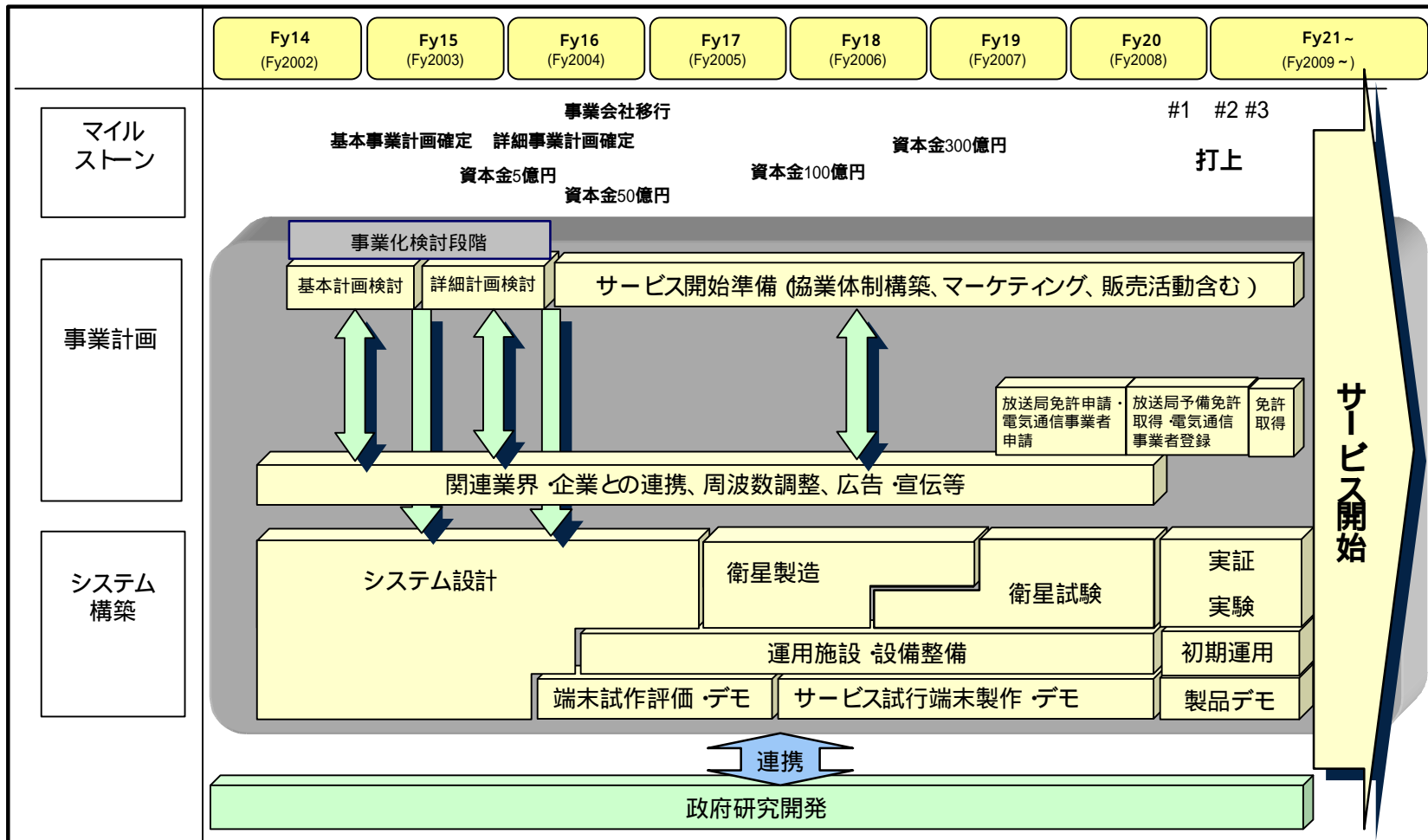
利用の可能性のある民間事業者に対する説明、ヒアリングを実施。

- 実施期間：2002年12月～2003年9月
- 対象事業分野：自動車、鉄道、運行管理サービス、産業廃棄物監視サービス、セキュリティ、放送、測位測量関連、他

2. 利用への期待等

- (1)自動車関係では、高精度測位を利用した安全安心アプリケーションを中心に、自動車会社、機器メーカー参集による委員会を設置し、技術課題、開発ロードマップ等の検討中。
- (2)鉄道分野では、以下の利用に期待あり。
 - 高精度測位を利用した保線
 - 高精度位置情報を活用した運行管理
 - 乗客向け画像データサービス
- (3)産業廃棄物監視では、高精度測位の実現により精密な走路把握による不法投棄の監視が可能なが判明。
- (4)セキュリティ分野では、高精度測位の実現により緊急通報や自動車盗難対策の効率化、低コスト化の可能性があると判明。
- (5)放送分野では、画像伝送利用において、準天頂軌道の特長を生かして機器の小型軽量化が出来、機動性並びに利用範囲の拡大に期待あり。

3. 事業スケジュール (案)



4. 今後の課題

1. 官民プログラム/ リスクマネジメント体制の構築

民間資金、政府予算の確保、開発スケジュール管理等に関する官民による効果的、効率的な意思決定メカニズムの構築と運営。

2. 測位の公共性・公益性の観点からの政府方針の明確化

国としての方針決定と測位運用担当機関の決定。

3. 事業周波数の確保/ 事業免許の取得

国際間調整、国内事業者との調整に基づき、事業周波数 (放送、通信) の確保、免許取得。

4. 利用者の確保と拡大

官民にて利用に期待の高い「危機管理」、「安心・安全」、「安全保障」関連での利用拡大を図り、新しいサービス事業分野を創出。